



## 『 健康診断における血液検査について 』

---

血液は、体の隅々を駆け巡り、すべての組織に栄養分を運ぶとともに、老廃物を運び出す大切な働きをしています。そのため、体を循環している血液は、体の健康状態を反映しており、その中身を調べれば体の組織や臓器の状態や異常が分かることから、人間ドックなどの健康診断では必ず行われています。言ってみれば、血液検査は、体の臓器や組織の健康状態を測る物差しと言えるのではないのでしょうか。

健康診断における血液検査は主に、肝機能検査・脂質検査・腎機能検査・膵酵素検査・糖代謝検査・末梢血検査などを行っています。

これらの検査で異常値を示すと、肝機能異常では肝炎、脂質異常では動脈硬化、腎機能異常では腎炎、膵酵素異常では膵炎、糖代謝異常では糖尿病、末梢血異常では貧血や白血病など、さまざまな病気を見つけるための手掛かりとなります。

体の不調が無いと思っても、血液の中ではすでに異常が起きているかもしれません。

健診で異常を指摘されたら早めに精密検査を行い、生活改善や治療を行うことで健康を維持できます。

病気の予防や早期発見・早期治療の為に、健康診断を受けましょう。



鹿児島県厚生連  
中央検査室(臨床検査技師)  
川 口 真